

○布野支所の約束

・布野支所長の基本姿勢

布野支所は、住民との相互理解と連携に力を入れ、「自分たちのまちは自分たちが創り、地域に住まいする住民の力で磨き、輝かせる」という住民意識を高めます。特に「中村憲吉記念文芸館」や「道の駅ゆめランド布野」など支所管内の特色ある施設については、住民と施設が何らかの形で関わる仕組みをつくります。

地域づくりは、新たなものを作るのではなく、地域住民がこれまで気付かなかった地域固有の資源を自分自身の生活の一部に組み込んでいく作業です。布野支所は、地域リーダーの育成にも積極的に努め、あらゆる部門で住民活動をしっかりサポートできるよう、万全の体制で支援します。

【平成24年度を振り返っての布野支所長コメント】

旧横谷小学校利活用については、地元住民を中心に組織づくりが達成できました。自主事業として、活発な交流活動が展開できるよう今後も組織の育成支援を強化します。

・布野支所の約束

人材育成を進め、住民主体の施設運営の仕組みをつくります。

【約束の達成状況等コメント】

地域の事業等の実施にあたり、住民団体を構成員とする組織で協議することにより、企画の提案や自主的な運営を行う意識が高まってきています。新たに「横谷ふるさとセンター」の指定管理も予定されており、他の施設も併せ、今後の運営の支援を続けていきます。